

音文化

受験番号

（7 枚中 1 枚目）

【必答問題】問題1と問題2に答えよ。

問題1

音楽と政治や法律の関係について、3つの具体例を挙げて、音楽史ないしはメディア史の観点から、それらを比較しながら論ぜよ。その際、下記の6つのキーワードから、少なくとも3つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。（40点）

キーワード1：著作権

キーワード2：ナイトタイムエコノミー

キーワード3：PA (Public Address)

キーワード4：教会

キーワード5：ナショナリズム

キーワード6：文化政策

問題1 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7 枚中 2 枚目）

問題 2

下記のキーワードから 4 つ選び、聴覚文化論、メディアアート、音楽理論、音楽史、音楽文化論、作曲のいずれかの観点からその特徴と意義を説明せよ。必要に応じて図を用いてもかまわない。（60 点）

- | | | |
|-------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 活版印刷 | 7. チェレスタ | 12. ミニマル・ミュージック |
| 2. アンビエント | 8. シーケンサー | 13. 集中的聴取 |
| 3. ピュタゴラス | 9. ミッキー・マウジング | 14. カセット・テープ |
| 4. アンビソニックス | 10. クリスチャン・マークレー | 15. ピッチクラス |
| 5. 交響詩 | 11. カールハインツ・シュトックハウゼン | 16. ディスクラビア |
| 6. ホワイトノイズ | | |

問題 2 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

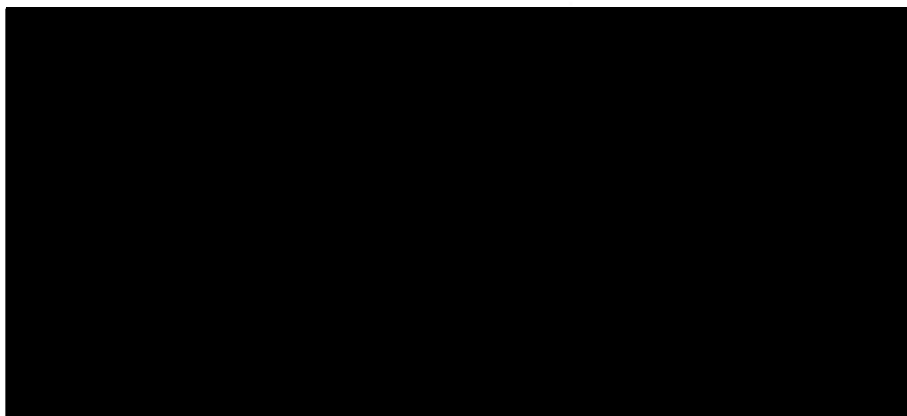
受験番号

（7 枚中 3 枚目）

【選択問題】問題 3～7 から 2 つ選択して答えよ。（各 50 点）

問題 3

下記の図はヴォルデマール・ポールセンらが発明した装置である。この装置の名称を記すとともに
(A)、(B)、(C)、(B.1)、(B.2)、(B.3) に当てはまる語句を以下より選択し、
それらの語句を用いて装置の動作の仕組みを説明せよ。必要に応じて図を用いてもかまわない。



画像出典：あちゃぴー（2022），音楽ライターのコラム「sound&person」，サウンドハウス（出題のため一部改変）

問題 3 解答欄

装置の名称：

(A)

(B)

(C)

(B.1)

(B.2)

(B.3)

（語句：コイル、ワイヤー、マイク、磁気ヘッド、コア、磁束）

動作の仕組み：

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--

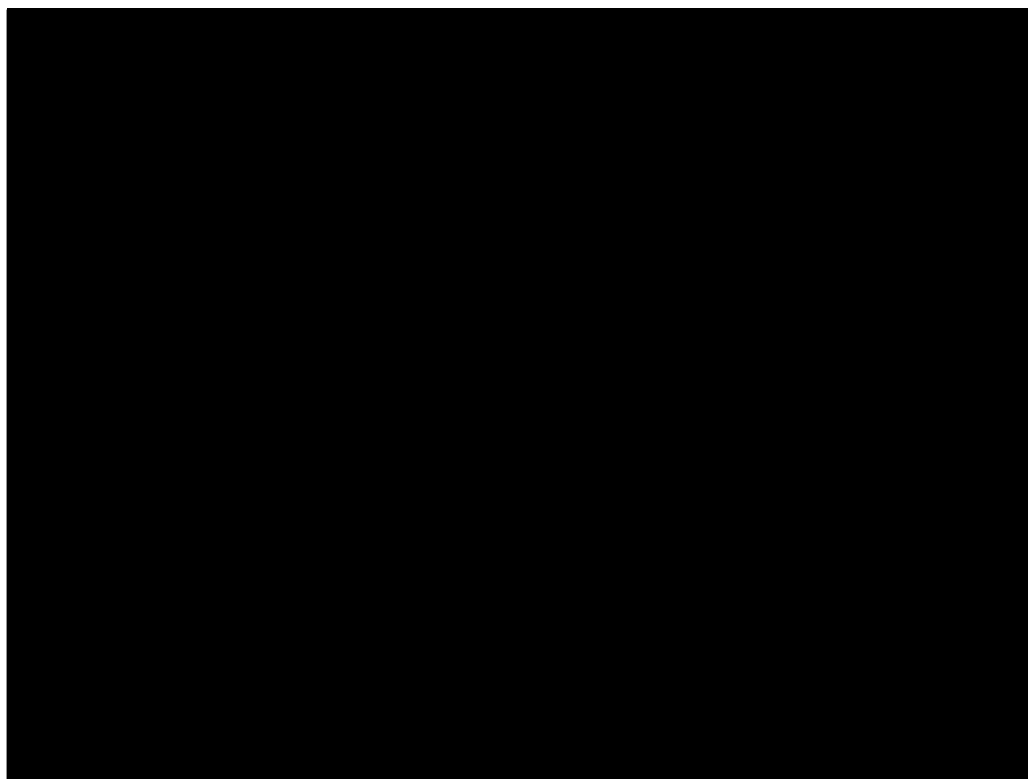
音文化

受験番号

（7 枚中 4 枚目）

問題 4

以下は、音楽に関わるとある新聞記事の抜粋である。この記事から読み取れる事実を音楽史並びにメディア史の双方の観点を踏まえ論ぜよ。



画像出典：The Strad, <https://www.thestrad.com/news/unique-wax-cylinder-recordings-by-paganinis-only-pupil-identified/18071.article>（出題のため一部改変）

問題 4 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--

音文化

受験番号

（7 枚中 5 枚目）

問題 5

現代に至るまでの音楽と作曲の関係について、音楽史・音楽理論・音楽文化論の観点から、複数の時代・地域の事例を挙げてその特徴を説明せよ。その際、下記の 5 つのキーワードから、少なくとも 3 つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。

キーワード 1：グレゴリオ聖歌

キーワード 2：替え歌

キーワード 3：即興

キーワード 4：アルゴリズム

キーワード 5：サビ始まり

問題 5 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7 枚中 6 枚目）

問題 6

現代に至るまでの音楽とコミュニティの関係について、音楽史・音楽文化論および音楽マネジメントの観点から、複数の時代と地域の事例を挙げてその特徴と変遷を説明せよ。その際、下記の 5 つのキーワードから、少なくとも 3 つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。

キーワード 1：ヘテロフォニー

キーワード 2：宗教改革

キーワード 3：音象徴

キーワード 4：マイノリティ

キーワード 5：地域づくり

問題 6 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7 枚中 7 枚目）

問題 7

20 世紀以降の音楽に特有の記譜法を 3 つとり上げ、その記譜法を使った作曲者と作品の例を挙げて特徴と歴史的背景を説明せよ。例は、それぞれ異なる地域や年代とすること。また、作曲（家）・演奏（家）・聴取（聴衆）の関係にも言及すること。必要に応じて図を用いてもかまわない。

問題 7 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。